

FM音源の可能性を究極まで追求した、クリエイティブ・ファンクション。

ENHANCED PARAMETERS of DX7 II D-FD, DX7S

MICRO TUNING

「音色の創造」に加えて、「音律・音階の創造」がシンセサイザーのアビリティに加わりました。それが、平均律の壁をやり、キーボードの概念にさえも変革をさせる。DX7 II・7Sのマイクロチューニング機能なのです。約1.2セント・ステップの緻密さで、1キーごとにチューニング。音楽の根幹であるハーモニーやメロディの基底を形成している音律・音階を、みずから手でプログラムできるのです。オリジナル音律をインターナルに2種類、RAMカートリッジ(別売RAM4)に63種類メモリーできる他、主要な音律はことごとくプリセット。例えば、絶品のハーモニーを響かせる純正律。(長・短すべての調が可能)。ヨーロッパ近代の感性を数世紀もの間魅了しつづけたヴェルケマイスター音律。さらに、アヴァンギャルドな現代音楽やエスニックな音楽の息吹に欠かさない1/4音・1/8音など全11種類。オリジナル音律とも16フォーマットメモリして置き、1タッチで調律完了です。響きからわずかな妥協も追放するために、ボイスA・B間で音律をずらして自然なコーラス感を与える(DX7 II)などクリエイティブな使い方のために、そしてもちろん、クラシックやアカデミックなフィールドに、マイクロチューニングが、革命的なセンセーションを巻き起こします。

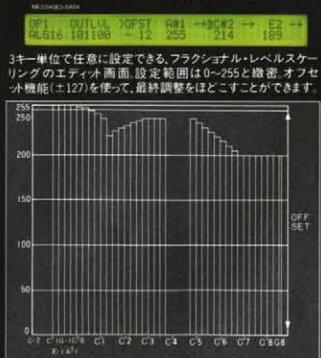
Micro tuning

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	B	C	D	E	F	G	A	B	C	D	E	F

ハーモニーやメロディの基底である音律のプログラムを可能にした、マイクロチューニングのエディット画面。数値はC#=-2を0とした時のデータ。1ステップが、1.171875"という精密さです。

FRACTIONAL SCALING

マイクロチューニングと並ぶ超機能が、マニアックなシミュレーションのためのフラクショナル・レベルスケールリング。アウトプットレベルを、3キーごとに自由な値に設定可能。グランドピアノの中域から低域の鋼巻線へ移る響きのグラデーション。クラリネットのクラリオン/シャリユーム/アルティモの3つの音域の差。バイオリンのE線(スチール弦)とA線(ガット弦)の音色の差など、最低音から最高音に、異なる自然楽器の音色・音量の複雑な変化を、完璧に再現するのに欠かせないスベックです。あるいは、3キーごとに全く別のサウンドにプログラムしてしまったり、6オクターブを2音色に分けたスプリットにスプリットモード(7 II)を併用するなど、変幻自在のハイ・テクニックも可能にします。ストアはRAM4へ。



フラクショナル・レベルスケールリングのモデル図。C#0-A2のような、微妙かつ不連続なカーブは自然楽器音のシミュレーションに、A#3-A4のようなゼロ設定をクリアに使用はボイスでのスプリットも。

RICH, THICK & WARM

●いっそう厚く、エネルギーの充溢したサウンドのクリエイイトもDX7 II・7Sの設計モチーフ。デジタル技術を積極的に採りこみ、数々の新ボイスパラメーターを用意しました。●まずユニゾンモード(ポリ/モノ)。1キーで4音が重なって発音するため、このうねくエネルギーにみちた、太く迫力あるサウンドがえられます。さらに4音間にユニゾンデチューンを加えると、奥行き感、コーラス効果がいっそう際立つものに、ソロ音色、エレクティックベース、パーカッションはもちろん、ストリングス/ブラス系まで、絶大な威力を発揮してくれます。DX7 IIでは、デュアルモードとの併用により、サウンドのインパクトはもとより、リッチ。●一方LFOブロックには、マルチモードを用意しました。キーオンの瞬間に16キー独立で変調がスタート。位相が微妙にずれ、複雑に波形がからみあうため、他では求められないアンサンブル感かみ出しされます。●重厚なコーラス感をもたらす、ランダムビッチも装備しています。キーオンのたびに、ピッチが極くわずかにランダムに外れるため、特にコードプレイ等で耳に心地よいナチュラルなズレがえられます。合唱やアンサンブルの編成規模を、耳で判断できるのと同じ原理。感度も段階設定とこまやかです。打楽器系ボイスや、調子づまづまを意図的に演出したい場合にも、どうぞ。



キーオンのタイミングで16鍵独立でかみ始めるマルチモードLFOのモデル図。ユニゾンモードでもキーオンのタイミングは微妙にずれているため、ナチュラルなアンサンブル感がえられます。

PAN CONTROL

DX7 IIには、A・B2系統の出力をマジカルに使い切るパンも装備しています。なんと、コントロールの方法はペロシティ(タッチの強弱で制御)、LFO設定(変調とパンの周期が対応。波形やスピードを変えるとパンのありさまが変化。ロータリースピーカーのように、常時パンニングさせる場合)、ノートナンバー(最低音から最高音へ行くにつれアウトAからBへ音像移動)、そしてパン専用8パラメーターEGの、計4種類という多彩さ。しかも単に定位をゆらすだけでなく、2音色間の音量バランス変化もつけられます。4種類のパンモードと組み合わせると、音色を交替させながら定位をゆらしたり、FでB音色、mfでA+B音色、pでA音色といった効果も、容易に演出。レンジも0~99と緻密。パフォーマンスにメモリーしておき、演奏中はパン・SWでオン/オフ可能。

PLAYABILITY

●キーボードプレイヤー最大のエモーション入力装置=タッチの表現レンジを増強したのを筆頭に、コントローラーやペダルなどリアルタイム・プレイアビリティの高さもDX7 II・7Sの自慢です。●例えばインシャルタッチでピッチEGのコントロールが可能。自然楽器音でにだけピッチ変化をつける超リアルな奏法はもちろんのこと音の強さを変えずにピッチ変化をオン/オフさせる、エキセントリックプレイすら自在です。レンジのワイドな点も格別(8・2・1・1オクターブ)。変化の開始点と終了点でピッチを変えることもOKです。●また、アフタータッチでは、音量・音色・モジュレーション制御に加えて、ペンドレイズも可能。ベースソロやディストーションギターが、さらに強力に表現できます。レンジもエ4オクターブ(ノ)ですから、サウンド・エフェクトにも適役。●一方フットスイッチ端子は、サステイン専用と、アサイン型(サステイン、ホルタメント、キーホールド、ソフト)の

MEMORY CAPACITY

2つを装備。ビブラート、トレモロ、ウワウワ、EGバイアス、音量などを制御できるフットコントロール端子も1・2を装備。●さらに、コンティニューアス・スライダース1・2の操作で、プレイモードでもボイスパラメーターをエディット可能。音色やLFOスピードの調整、ピッチの幻想的なシフトなどの他、パン・コントローラーや音量パラメーター(DX7 II)として機能させることもできます。さらにCS1にアサインしたボイスパラメーターは、フットコントロールでも制御可能。もちろん、これらの設定は、ボイスパフォーマンスメモリーできます。

MIDI SYSTEM PLAY

●最新MIDIシステムの中核としての条件も、すみずみまで配慮しました。まずプログラムチェンジの送信では、DX7 II・7Sの音色SWと送信先の音色番号(0~127)を自由に対応させるプログラマブルモードや、本機の音色を変えずに相手の音色番号を切り換えるマニュアル・トランスミット機能を装備。●コントロールチェンジでは受信番号9~31がCS1・2にアサイン可能。送信番号5~31もアサインできるので、割りあておいたボイスパラメーターを、QXシーケンサーや別のDX7 II・7Sから制御できます。また、通常はフットコントローラーなどで操作する効果も、同様に外部MIDI制御可能。●さらにスプリットモード(DX7 II)でボイスA・BのMIDIチャンネルを別々に設定すれば、QXの2パート分の再生用音源として、全音域で発音させることができます。●加えて、ローカルコントロールをオフにすると、鍵盤の演奏情報はMIDI OUTから出力。音源部はMIDI INからの情報で発音。例えば音源部はQXの再生に使い、TXシリーズなど外部音源だけを鳴らしてプレイしたり、DX7 IIなら鍵盤のマニュアルプレイをQXに送って、QXのシーケンセータとマージアウトし、再度本機に入力させると、ボイスAをQXの音源として使い、ボイスBを鍵盤プレイに使うテクニックも使用できます。

COMPATIBILITY with DX7

世界中に数限りなく存在するオリジナルDX7の音色はまさにワールドワイドなミュージック言語。他のシンセサイザーでは及ぶべくもない現象です。DX7 II・7Sはこの財産を有効に継承するため、DX7(およびDX1・5、TX7・816)と、ボイスに関する上位互換性を実現しました。MIDIによるバルク転送はもとより、DX7ボイスカートリッジ(ROM-RAM)が装着できるカードリッジアダプターADP1(別売)も用意しています。



マイクロ・フロッピーディスク・ドライブはDX7 II FDIに装備。DX7のカートリッジはADP1を使ってDX7 II・7Sに装着可能。